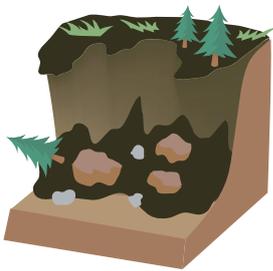


土砂災害とは

土砂災害の前兆現象かな?と気づいたら、役場へ連絡して、周りの人と安全な場所へ避難しましょう。

がけ崩れとは

- 地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちることです。
- 地震により起こることもあります。
- 突発的に起こり、短時間のうちに崩れたり、落石があるので、逃げ遅れた場合、死者が出る割合が高くなります。



土石流とは

- 谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水と一緒に、一気に流れ出てくるものです。
- 破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。



地すべりとは

- 地中の粘土層などすべりやすい面にしみ込んだ雨水などの影響で、山腹がゆっくりと動き出す現象です。
- 比較的緩やかな斜面でも起こります。一度に広い範囲が動くため、住宅や道路、耕地などに大きな被害をもたらします。



前兆現象

- 湧き水が増えたり、急に止まると
- 湧き水が急に濁ると
- 斜面にひび割れができる
- 斜面に水が走り出す
- 地鳴りが聞こえる
- 山の木が傾いている
- 小石が落ち始める



前兆現象

- 山鳴り、地鳴りが聞こえる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がった
- 川が濁ったり、流木が混ざりはじめる



前兆現象

- 地面にひび割れができた
- 井戸や沢の水が濁ってきた
- がけや斜面から水が噴き出した
- 家や擁壁に亀裂が入る
- 家や外壁、樹木、電柱が傾く



土砂災害から身を守るために

土砂災害から避難するためには、事前に危険箇所や避難場所を確認しておくこと、気象情報を確認しておくことが大事です。

地域危険箇所を調べましょう

本冊子に掲載している土砂災害警戒区域図をもとに、地域の危険箇所を確認しておきましょう。



避難場所や避難経路を確認しましょう

避難場所や避難の道順など、日頃から地域のみなさんで確認しておきましょう。

気象情報や災害情報を収集しましょう

テレビ・ラジオ・パソコン・携帯電話などで気象情報に気を配り、近所の方々などとも連絡を取り合しましょう。



土砂災害の危険性がある区域

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年5月8日法律第57号）」に基づいて、「土砂災害警戒区域（イエロー区域）」及び「土砂災害特別警戒区域（レッド区域）」が指定されています。

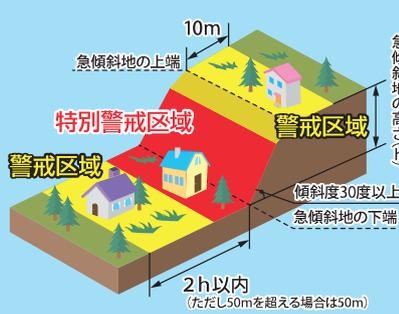
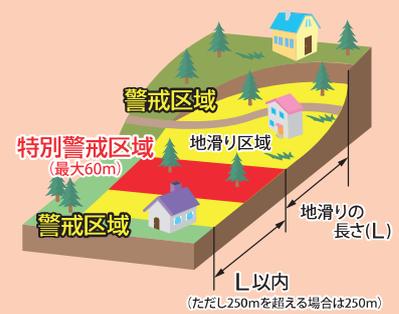
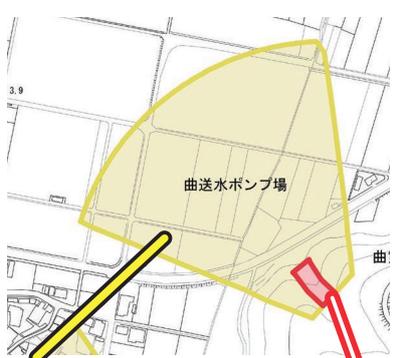
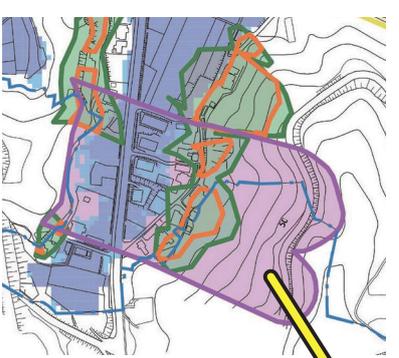
■土砂災害警戒区域（イエロー区域）

崖崩れや土石流などの土砂災害が発生した場合には、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、市町村による警戒避難体制の整備が義務づけられます。

□土砂災害特別警戒区域（レッド区域）

イエロー区域のうち、土砂災害が発生した場合には、建築物に損壊が生じ住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域です。

レッド区域内で住宅の建替え等を行う場合には、建物の構造に規制がかかります。

| 土砂災害警戒区域等の指定基準 | | |
|---|---|---|
| がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) | 土石流 | 地すべり |
|  |  |  |
| 傾斜度30°以上で高さ5m以上の斜面上端から10m、斜面上端から高さ2倍の距離の範囲 | 扇頂部から勾配2°未満になるまでの範囲 | 地すべり区域と末端から地すべり区域の長さに相当する距離の範囲 |
| 地図上の凡例 | 地図上の凡例 | 地図上の凡例 |
|  |  |  |

ハザードマップを確認して、自宅地域に土砂災害の危険性があるか調べてみましょう!